



ワーカーズ訪問

20歳になりました！ 手づくり弁当「豆の会」

新座市のワーカーズ「豆の会」 最近とっても元気です。元気の秘密を聞いてきました。



11月8日(土)、豆の会の理事会にお邪魔しました。ブロック会議や、食部会の報告、そして値上げをすべきかが議題です。報告の中で、なぜブロック会議や食部会があるのか、今までの経緯や、考え方を先輩方は丁寧に説明していました。「豆の会」は、自分たちで食べたいお弁当を作る、なるべく地産地消でいこう、豆を入れる、生ゴミは畑を借りてコンポスターに入れに行く、廃油で石けんをつくる等々、そそいかに無駄な作業をへらすことができるのかを話し合っていました。

生活クラブ埼玉本部でスタート

悩んだこともいろいろありました・・

設立してから20年、代表は森泉さんから中村さんへ、そして現在は3年目の蒲生さんです。生活クラブ埼玉本部(新座にあった)内でお弁当を作っていたのが始まりです。本部から飛び出し今のところに移って13年、現在のメンバーは11人。移ったころは、メンバーが病気になったり、ご主人の不幸が重なり、続けるのをどうしようかと悩んだと言います。

さらに、消費税導入に伴う値上げ、そして値段の安いお弁当が次々とできてきて、食数ががた落ちになったとき、次から次へと存続の危機が押し寄せる中、今は比較的安定しているとのこと。

薄氷を踏むようになりながらも続けてきたのは、「や

めてしまったら、ゼロにしてしまったら、再度一から始めるることは無理」「豆の会の歴史を閉じてしまって良いのだろうか」という思いがあったからだと言います。

今だから

意義ある活動を続けるために・・

産地偽装や、農薬の検出等食に対する不安感から、国産であったり、地産地消であったりと安全性を求めるようになってきて、最近は近くの市役所の注文等、一日のお弁当の数も増えてきているそうです。

メンバーの体力の限界などを考えると、「豆の会」の思いを伝えていくために新しい仲間を・若いメンバーを増やしていくかなければと思っていると話してくれました。

豆の会ではとことん話し合い、継続することの意義を確認しながら進めていることを確信しました。



笑顔で集合！

広報チーム 齊藤

(企)豆の会・新座市石神2-4-8 048-477-1601

新しい
仲間！

夢膨らむ、メゾンとともに

くらぶメゾンとは、生活クラブ埼玉が、中期計画に基づき共同購入や福祉・まちづくり活動などを一つの拠点で行う構想のこと。拠点であるくらぶメゾンは地域の課題を事業や活動で自主的に解決しようという団体（生活クラブの組織やワーカーズ・ネットその他）が使用し、維持します。一番にスタートした鶴ヶ島のくらぶメゾンでは、2つのワーカーズが大きな夢を抱いて生まれました。

生活クラブ生協くらぶメゾン鶴ヶ島 鶴ヶ島市富士見 2-12-15

組の管理人ワーカーズ「ケチャップ」

くらぶメゾン鶴ヶ島内 tel/fax 049-279-5611



1歩1歩、仲間を増やして

店舗を持たない生活クラブ埼玉は、くらぶメゾンで15人以上の大型班「組」を複数運用することで組合員を増やし、消費材を受取りにくる組メンバーで拠点を活性化させる構想を持ちます。鶴ヶ島支部ではそれまでくらぶルームを拠点にして組が3つあり、その専任当番だったメンバーを中心に、メゾン構想にのっていよいよワーカーズとなって始動しました。

10年以上専任当番を続けてきた、地域のお母さんのような高野さんは、ワーカーズへ移行することで組の継続と「当番」の世代交代を図ることができますと期待します。また戸配組合員だった専任当番下田さんは、働く場所としてここを選んだ理由に、食の安全についてなど、自分の考え方と矛盾しない職場であることだと教えてくれました。

ベテランと若いメンバーの息も合い、ケチャップはこれから3年間で組合員120名から300名を目指します。

カフェレストラン「ぼまと」

くらぶメゾン鶴ヶ島 2F tel/fax 049-279-5611



おいしさを届けたい

写真のおしゃれなランチセットは手作りケーキと森のコーヒーのお変わり自由で1000円という大サービス。ぼまとメンバーの心意を感じます。

代表の中野さんは狭山センターを拠点にした配達ワーカーズクローバーのメンバーです。メゾンの2階に安心な食材を使ったおいしいレストランがほしいという生活クラブのメゾン構想にのり、一大発起。仲間探しが一番大変だったと振り返ります。

クローバーの、メンバーの年齢が高くなり体力的に配達が難しくなったときに新たな働く場をどうするかという課題への取り組みにも重なり、クローバーの仲間も参加しての事業となりました。もちろん新たな仲間も加わり夢をいっぱいに膨らましてスタートです。しばらくは「ケチャップ」の組が聞く火・木・金曜の営業ですが、営業日を増やし、地域の皆さんに安心安全な食事のおいしさや大切さをアピールしていきたいと考えます。

広報チーム 福島

地域へ
発信！

地元の野菜を地域につなぐ！「ワーコレコしがや」須長こうさん、 パネリストとしてワーカーズ事業を紹介

地域のきめ細かい需要を掘り起こし事業として立ち上げ、市民のニーズにこたえるワーカーズが注目されている中、越谷市男女共同参画セミナーでは、長年地産地消を大事にして事業を営んできたワーカーズからの情報発信がありました。



「生産と消費を結びつける事業体の存在」について熱く語る
須長こうさん

10月23日、北越谷駅前の「ほっと越谷」で開かれたセミナーにワーカーズのメンバー須長こうさんがパネリストとして参加、活動を報告しました。セミナーのタイトルは「地産地消のまちづくりー生産・加工から消費まで地域でつなごう女性のネットワーク」越谷市男女共同参画基礎セミナーとして開かれたものです。

宮代町の観光農園でパン・ジャムを製造販売している「森のパン工房」の女性二人の報告の後、JA越谷市女性部長と越谷市農政課の方と共にパネリストとして登場した須長さん。「キッチンとまと」を立ち上げた13年前から、地場野菜販売の「あぜみち」今年の4月にスタートした農産物直売所の「ワーコレコしがや」まで、一貫して越谷の農業を大切にしたいと考えてきたこと、「生産者と消費者が同じ空気を吸っているという関係を」と自然体で語りました。

宮代町の「森のパン工房」の運営を担う女性たちは、自分たちで経営する楽しさ、やりがいを話され、ワーカーズの運営そのものでした。

越谷市の農業振興政策についての報告に加え、「競争・競合でなく、顔を合わせて話し合っていくのがいい」という須長さんからの発言も、生産と消費を結びつける事業体の存在が、地域の農業を元気にしていく鍵になるのでは、と感じ取れました。パネラーとしての発言には活動に裏付けられた見識がうかがわれ、今後の発展に向けての熱意が伝わってくる内容でした。私たちワーカーズからの情報発信の必要性も改めて感じました。 広報チーム 大塚

越谷地産地消をつなぐセミナーにてパネリストとして参加



生産と消費を つなぐ協同組 合の有効性

ワーカーズに期待されるものの一つに、地域生産者と消費者をつなぐ、いきいきとした地域づくりがあります。

古くからあった農協婦人部の生産物の加工と販売、近年それを事業化する動きが目立ちます。県内でも農産物に加え加工品も陳列し、おしゃれなカフェを併設する直売所が各地にできつつあります。地域の女性たちが知恵と技術を出し合い協同でその運営を担っています。

「ワーコレコしがや」の取り組みもそのひとつ。越谷市の農業政策とJAの連携でワーカーズへの直売所の運営委託が実現しています。

この国の食糧自給率は39%、休耕田が目立つ近郊と安全が揺れる輸入食品、皮肉な現実を回避できるのは、生産者と消費者、その中間を担う事業体のネットワークで顔が見える関係をつくること。加工、調理法や生産方法に関する情報提供、食育など多様な役割を担い、働き場を拓き、地域再生と農業振興につながりそれが自給力となるのではないですか。

青いそら 浅草



10/19

所沢生活館まつりで求人活動
「ハローワーカーズ」

毎年恒例実りの秋の生活館まつりで、仲間の実りを期待して「ハローワーカーズ」ブースが設置されました。大勢ではないけれど、自分に納得の行く働き方を求める人は必ずいて、熱心に話を聞きに来てくれました。今回は通勤の足がないなどの理由で仲間になってもらえる人はいませんでしたが、機会のあるごとにアピールしてゆきたいと思います。（所沢ブロック）

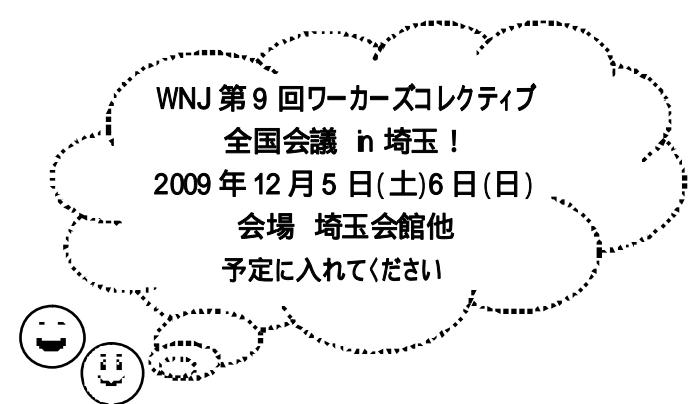
地域に交流の場と気軽に参加できる文化の場をつくろうと、「第2回こぶくろ文化祭」が10月24・25日（金・土）に行われました。リサイクルショップだけでなく、地域のワーカーズの参加や「こぶくろ」で行われている各教室の皆さん的作品展示、バイオリン演奏、歌声喫茶もあって、色々な楽しみ方のできる催しでした。

歌声喫茶は、これを機会に定期的にやっていくとのこと。
「こぶくろ」から地域に文化の輪がひろがっていくといいですね。（ほ）
リサイクル・café こぶくろ 越谷市袋山 1631-6 電話/FAX048-976-1250



2008年度埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会全体会
日時 2009年1月31日(土)10:00～15:00
場所 生活クラブ埼玉本部
内容 午後：法制化の学習会
参加費 1500円(昼食代・資料代)

WNJ 第9回ワーカーズコレクティブ
全国会議 in 埼玉！
2009年12月5日(土)6日(日)
会場 埼玉会館他
予定に入れてください



◎ワーカーズってなに？出前講座◎

ワーカーズのことを知りたい方、働き方に興味ある方、ワーカーズを立ち上げようとしている方
講師派遣します。2時間1万円+交通費（関係団体は5千円）

あとがき こんな時代だからこそ、優しい社会になれるように私たちの声を広く遠くにとどけたいなあと思います。2009年度のワーカーズ・コレクティブ全国会議は埼玉で開かれます。広く遠くに呼びかけるチャンスですね。（ふ）

ワーカーズコレクティブとは、経営と労働を自主管理・自主運営する主体的な働き方で、地域に開かれた労働の場を作り出すものです。

発行・埼玉ワーカーズコレクティブ連合会

1部 100円

発行責任者・大野洋子 編集・広報チーム 福島/齊藤/堀/大塚

〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋1-5-3 ひゅうまんポスト内 電話 048-844-0221 FAX048-838-7884

<http://saitama-workers.com/>